

生体肝移植医療とPCAPSの出会い



メンバー；田中紘一、山田貴子、中田知廣

生体肝移植医療の特徴



- 多様な患者背景
- ドナーとレシピエントのシンクロ医療
- 多領域にまたがる臨床知識が必要

開発経緯



- パスは医療を進化させるか？
- 市立病院での生体肝移植開始
- 名古屋大学吉田茂先生訪問
- 海外留学の経験



我々のビジョン、価値観を反映した**PCAPS**
「医療を進化させるためのパス」がほしい

可視化・構造化のルール



- 情報量のルール
- 構造化のルール
- **PCPAPS**のルール
- システム化のルール

実際の仕様 (Admin開発からBuilderへ再帰)



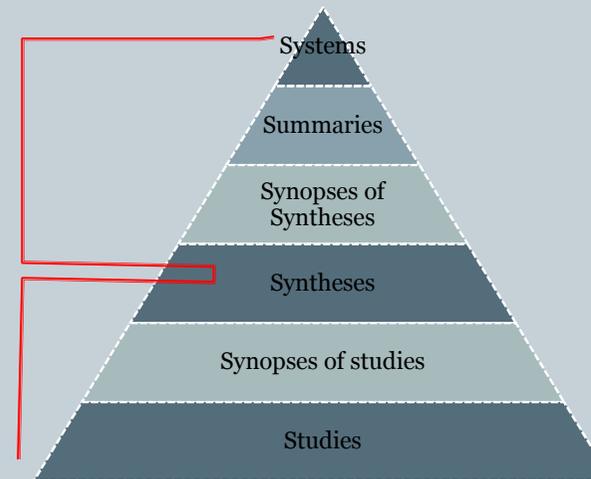
- プロジェクト管理
- 実施条件
- 情報の1~4次元構造
- 共通の項目
- **Core**の概念
- ライブラリーの属性
- 業務フロー、シーケンス図作成

EBMとは何か



- EBM具現化の要件はなにか
- 病院内Infrastructureの最大限活用
- 最新最良のエビデンス(あえて最大ソース)

Hierarchy of Pre-processed Evidence



今後の開発課題



- ユーザビリティ検証
- 英語版アドミ
- **Analyser⇒Builderへ再帰**
(データの取りやすい構造とはどんな構造か?)